

関東道路(株)

筑西市に100万円寄付 子どもの教育事業を支援



▲武藤代表取締役(中央)が設楽市長に目録を手渡した

地域貢献 活動

関東道路(株)筑西市、武藤正浩代表取締役は15日、子どもたちの教育事業を支援するために筑西市へ寄付金100万円を贈呈。武藤代表取締役が営業部の武藤正晃氏とともに市長応接室を訪ね、設楽詠美子市長に目録を手渡した。

武藤代表取締役は「地域貢献と未来に通じる子どもたち支援のため寄付を続け

てきた。会社が存続する限り次世代でも継続し、筑西市と永くお付き合いできれば」とあいさつ。

設楽市長は「これからも筑西市と連携しながら共に発展し、サステナブルに市と一緒に歩んでほしい。ご寄付は大切にに使わせていただく」と感謝した。

同社は2011年の東日本大震災以降、筑西市への寄付を続けており、今回で17回目となる。

これまで市では寄付金を大型テレビやプリンター、学校図書など小中学校の備品購入に活用しており、教育振興のために役立てている。

インスタ掲載